March 2024

JAETP 特定非営利活動法人 日本臨床運動療法学会

News Letter Vol.9

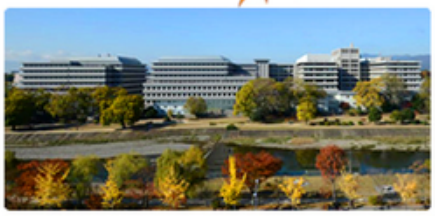
Japanese Association of Exercise therapy and Prevention

第43回日本臨床運動療法学会学術集会のご案内

2024年9月14日(土)-15日(日)

京都府立医科大学
図書館ホール＆講義室

白石 裕一
京都府立医科大学 循環器腎臓内科／リハビリテーション部



演題募集期間：2024年5月15日(水)-6月26日(水)

学会詳細についてはホームページにて随時更新してまいります

学会HP

会場アクセス

京都府立医科大学
図書館ホール、
基礎医学学舎1F
講義室1,2

京都府立医科大学附属病院を併設する河原町キャンパスは、美しい鴨川沿いにあり、交通の便が良い京都の中心部に位置しています。
秋の京都へ、皆様、ぜひ足をお運びください。

協賛募集

企業展示と、抄録集への広告掲載を募集しています

● 運営事務局
ACプランニング
〒612-8369
京都市伏見区村上町406
TEL : 075-611-2008
✉ : jaetp2024@acplan.jp

特別講演やランチョンセミナーのほか、下記プログラムを予定しています。一般演題も公募しますので、奮ってご応募、ご参加ください。

シンポジウム（案）

「震災被災者・避難者への身体活動支援」
「運動療法と革新的なリハビリテーション技術の融合」
「肥満に起因する機能的運動障害」
「健康づくりのために身体活動・運動ガイド2023を活用した運動指導」
「がんと運動療法」
「糖尿病、抗肥満薬との併用運動療法」

その他、 日本循環器理学療法学会・日本心臓リハビリテー ション学会や健康運動指導士養成校全国連絡協議会、日本メディカルフィットネス研究会とのジョイント形式を予定しています。

教育講演（案）

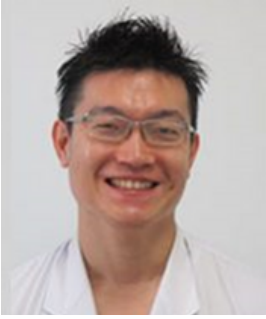
「パラリンピック 聴覚障害者のスポーツ支援」
「スポーツ障害のリハビリテーション」
「酸素摂取効率勾配（OUES）」
「ストレスマネジメント運動療法」
「COPD、肺がんのリハビリテーション」

Journal 紹介

〇編集委員会のご協力で論文を順次紹介してまいります

石黒　創

新潟大学 医学部
内分泌代謝内科学講座
健康寿命延伸・生活習慣病
予防治療医学講座
特任助教



近年になり、以前は2型糖尿病の治療薬であったGLP-1受容体作動薬が、肥満症を対象に保険適応となりました。また、食事中の脂質の吸収を抑え減量効果をもたらすオルリスタットも、ダイレクトOTC（医療用医薬品での発売を経ずに市販される医薬品）として薬局で購入できることとなりました。

このように肥満症治療薬が一般の方にも大きな注目を集めていますが、運動療法との併用の有効性については十分なエビデンスがありませんでした。

この論文は、糖尿病のない肥満（BMIが32から43）の方を8週間、低カロリー食で減量したのちに、①中～高強度の有酸素運動を中心とした運動群、②GLP-1受容体作動薬であるリラグルチドを投与した薬物群、③運動および薬物の併用群、そして④コントロール群、の４つに分け、1年間体重の変化を検討しました。

その結果、体重減少効果や体脂肪減量効果がもっとも高かったのは③の併用群、ついで①の運動群と②の薬物群が同程度という結果になりました。（図1および2：厳密には、体重減少については②と③については有意差はついていませんが中央値は大きな開きがあります。）③の運動と薬物の併用がもっとも効果がある、という、直感的に納得できる結果が認められました。

一方、①の運動群と②の薬物群との間では、有酸素運動能力を反映する最大酸素摂取量は①の運動群が有意に高く、また胆石や安静時心拍数の上昇といった副作用は②の薬物群の方が多いという結果がでました。①の運動群と②の薬物群との間では体重、体脂肪には大差なかったものの、『運動群でしか得られないメリット』『薬物群だと生じてしまうデメリット』が存在していることが示唆されます。体重減少という結果は同じでも、そのメカニズムは異なっており、その詳細な検討が望まれます。

また、本研究では対象外であった65歳以上の方や、糖尿病など併存疾患がある方でも同様の結果が得られるのか、についての続報も期待されます。

運動、リラグルチド、もしくは両者の併用による減量維持効果の検討

Healthy Weight Loss Maintenance with Exercise, Liraglutide, or Both Combined

Julie R, et al. N Engl J Med. May 6; 384(18):1719-1730, 2021

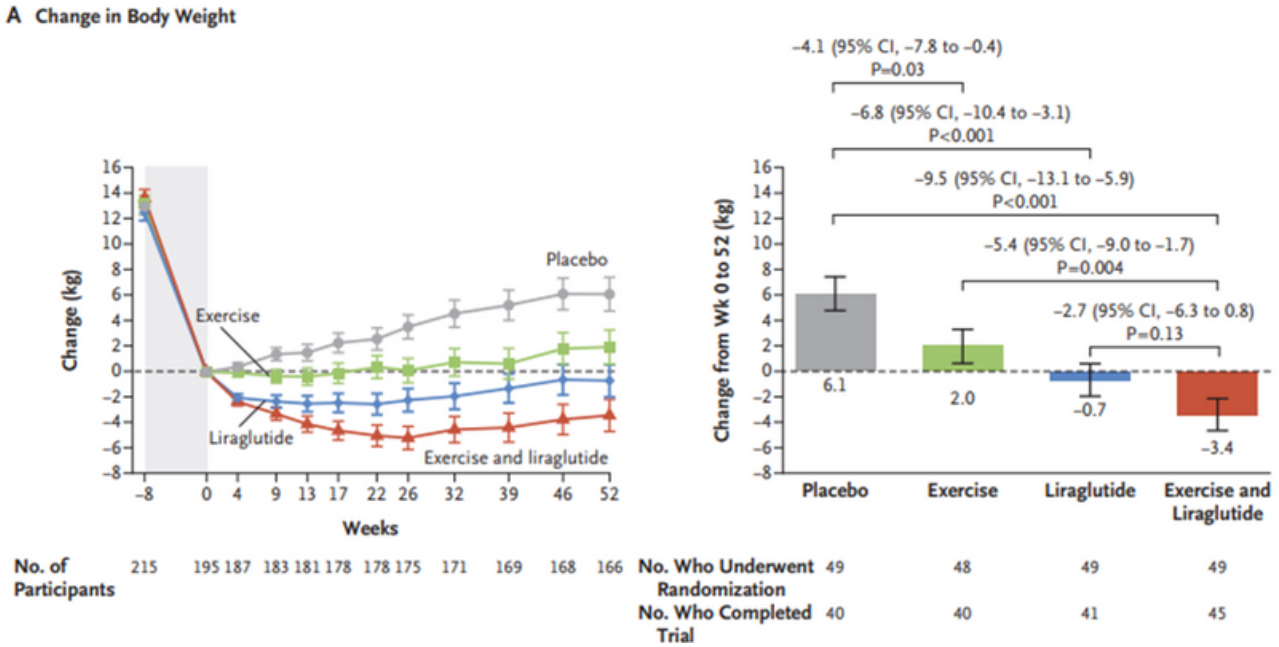


図１：各群の継時的な体重の変化。中央値の比較では、③の併用群がもっとも減量効果が高くなっています。

Julie R, et al. N Engl J Med. May 6; 384(18):1722, 2021 より引用

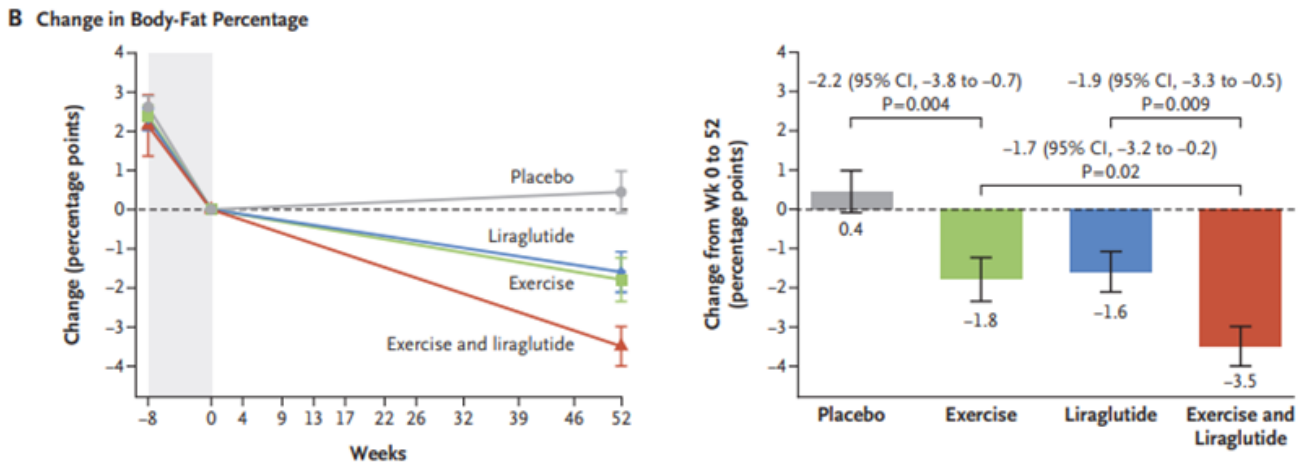


図２：各群の継時的な体脂肪率の変化。③の併用群がもっとも減少効果が高くなっています。

Julie R, et al. N Engl J Med. May 6; 384(18):1722, 2021 より引用

Information①

理事会開催報告

令和６年１月２９日（月）出席者２１名にて理事会を開催いたしました。

審議事項

（１）総務委員会①：2022年度事業報告の修正案
（２）総務委員会②：2023年度事業報告の修正案
（３）定款等策定部会①：定款修正案・定款施行細則新規策定案
（４）定款等策定部会②：理事・監事・評議員の定年制導入について
（５）定款等策定部会③：理事・監事・評議員の選任について
（６）定款等策定部会④：EIM Japan、CEPAの位置づけ
（７）事務局：次期役員改選の時期について

委員会審議事項および報告

（１）総務委員会：各種委員会、理事長副理事長会議、その他の日程
（２）編集委員会：今後の発行予定・論文投稿状況について、発行業者との契約状況、委員会記録報告
（３）広報委員会：ニュースレター「会員紹介」「論文紹介」に関する基準の審議事項
（４）学会等連携委員会：委員会報告
（５）ケースカンファレンス委員会：ケースカンファレンス開催報告
（６）定款等策定部会：審議事項にて検討したため、報告事項はなし
（７）学会ステートメント準備部会：活動準備中、次回報告予定
（８）活性化委員会：活動準備中、報告事項なし

第42回学術集会開催報告、第43回学術集会準備状況報告

事務局報告事項

（１）会員管理システム導入
（２）学会ホームページ改修

Information②

JAETP Web CC （ケースカンファレンス）

第11回、第12回は下記の通り開催されました。
参加は初回のみ右記Webから登録が必要です。参加費は無料です。学会員は、
オンデマンド視聴も可能です。なお発表をご希望の方は事務局へご連絡ください。
次回は4月5日（金）18時半～を予定しています。

初回登録

第11回

2.2（金）18時半

医療法人医療法人社団つばさ

メディカルフィットネスT's Energy

取り組み及び症例紹介

高木 宜史 先生

高橋 将太 先生

講演概要

演者紹介：JAETP ケースカンファレンスHP

医療法42条施設であり、健康増進施設、指定運動療法施設にも認定されている当施設の概要と医療法人社団つばさの中での役割、 他部署（専門外来の両国東口クリニックと透析施設のつばさクリニック）との連携方法を説明いただきました。次に健康運動士の運動介入により、運動能力及び体組成が改善し、現在も運動継続できている血液透析患者の症例（成功例）、 及び継続的な運動介入を実施しているものの運動効果が評価しにくいパーキンソン病を呈する血液透析患者の症例（難渋例）について、紹介されました。

施設HP

第12回

3.1（金）18時半

関西医科大学

くずは駅中健康・健診センター

村井 真緒 先生

勝島 詩恵 先生

症例

がん治療中運動療法を開始し急激な体重減少を認めた一例

演者紹介：JAETP ケースカンファレンスHP

ミニレクチャー

がん悪液質の評価とその対応、運動の可能性

講演概要

がん運動療法を実施している施設はまだ数少ない中当施設ではがん患者への運動療法を取り組んでおり、症例はがんステージⅣ治療中運動療法開始するも急激な体重減少を認めた一例が挙げられました。
運動処方、プログラム、運動時の注意点、観察項目、運動療法担当医、主科主治医、腫瘍治療担当医、運動指導士、理学療法士、栄養士等との連係等につき報告がありました。症例提示後に、がん悪液質の評価、運動の有用性、関西医科大学健康科学センターでの「がんフレイル予防外来」につき講演いただきました。